

## 平成29年5月18日定例教授会議事抄録

### 出席者

梶屋所長

板倉、大木、菅、園田、高橋、高見澤、長澤、名和、平勢、真鍋、安富の各教授  
池亀、藏本、小寺、鍾、馬場、古井、森本、米野の各准教授

### 海外渡航者

黒田、佐藤、中島、松田の各教授、額定其労准教授

### 議事

4月20日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

### 通知事項

1. 教員等の公募 なし
2. 各種研究助成等の募集について なし

### 報告事項

#### 3. 所長報告

梶屋所長より、以下の会議等について報告があった。

##### 1) 科所長会議（4月25日）

###### ① 本部預託金制度の改正

資料P9～18に基づき、本部預託金制度の改正について報告があり、提出期限が7月31日と早くなったので、例年とは異なる対応が必要であるとの説明があり、併せて高見澤財務委員長代理より、来月までの財務委員会で審議して所内の運用を決めたいと考えているとの補足説明があった。

###### ② 中央食堂改修期間中の昼食対応

資料P19に基づき、中央食堂改修期間中の昼食対応について報告があった。

###### ③ 東京大学ビジョン2020に関する教員人事制度

資料P20～21に基づき、東京大学ビジョン2020に向けて新たに創設した教員人事制度について報告があった。

###### ④ 新学務システムの稼働

資料P22に基づき、新学務システムの稼働のスケジュールについて報告があった。

###### ⑤ 第6回東京大学伊藤国際学術研究センター（IIRC）会議の企画公募

資料P23～26に基づき、第6回東京大学伊藤国際学術研究センター（IIRC）会議の企画を公募しているとの報告があった。

###### ⑥ 東京大学におけるハラスメント防止－教職員のための模擬事例集

東京大学におけるハラスメント防止－教職員のための模擬事例集の改訂版が発行されたとの報告があった。

- ⑦ 平成 29 年度功績者顕彰「東京大学稷門賞」候補者の推薦  
資料 P 27～34 に基づき、平成 29 年度功績者顕彰「東京大学稷門賞」候補者の推薦を募集しているとの報告があった。
- ⑧ 東京大学 IR データ室の設置に関する部局キャラバンの実施  
資料 P 35 に基づき、本年 4 月に東京大学 IR データ室が設置されたので同室が部局キャラバンを実施するとの報告があった。
- 2) 大学評価委員会（5月16日）  
資料 P 36 に基づき、同会議での審議、報告事項の概要について報告があった。
- 3) 拡大入試監理委員会（5月16日）  
資料 P 37 に基づき、同会議での審議、報告事項の概要について報告があった。
- 4) 科所長会議（5月16日）
  - ① 指定国立大学法人制度への対応  
資料 P 39～40 に基づき、指定国立大学法人制度に関わる「現地視察」対応及びスケジュール案について、報告があった。
  - ② 第 2 期戦略的パートナーシップ大学プロジェクト選考結果  
資料 P 41～42 に基づき、第 2 期戦略的パートナーシップ大学プロジェクト選考結果について報告があり、掲載されている大学とは積極的に交流を進めていただきたいとの依頼があった。
  - ③ 新施設維持管理システム導入の進め方  
資料 P 43～54 に基づき、新施設維持管理システム導入の進め方について報告があった。当研究所も「施設保全カルテ」作成のための実地調査対象となるため、調査の際には協力いただきたいとの要請があった。
  - ④ 若手研究者向けパンフレット「東京大学若手研究者の皆様へ」  
資料 P 55～56 に基づき、東京大学男女共同参画室から、若手研究者向けパンフレット「東京大学若手研究者の皆様へ～東京大学男女共同参画室の研究支援制度について～」が作成されたとの報告があり、若手研究者の方へのご周知いただきたいとの依頼があった。
  - ⑤ 東京大学ビデオ「UTokyo/Society」解説冊子  
東京大学ビデオ「UTokyo/Society」の解説冊子が作成されたと報告があった。
- 5) 教員の海外渡航について（報告）  
資料 P 57～58 のとおり 8 件を承認した旨報告があった。
- 6) 非常勤講師・委員等の応嘱について  
資料 P 59～60 のとおり委員等 5 件、非常勤講師等 4 件を承認した旨報告があった。
- 7) その他
  - ① 平成 29 年度 3 次配分及び平成 30 年度概算要求書および教員採用可能数再配分ヒアリングについて  
5 月 8 日(月)に実施されたヒアリングについて報告があった。

#### ②平成29年度科学研究費について

資料P61に基づき、平成29年度の科学研究費助成事業について、本研究所教員及び日本学術振興会特別研究員の内定状況について報告があった。

#### ③平成29年度産業医巡視/所長パトロールについて

中島環境安全衛生管理室長が欠席のため柘屋所長より、今年度の産業医巡視/所長パトロールを6月9日(金)13:00から実施するとの通知があり、所長立ち会いのもと全室を確認するのでそれまでに各自で居室の点検・整理をしておくよう要請があった。

#### ④H29Aセメスター全学自由研究ゼミナールの担当について

担当教員は平成27年6月11日教授会において、希望者を優先したうえで、着任日を基準に順番で担当することになり、今回は額定其労准教授に担当していただくこと、今後の予定はH30Sセメスターを米野准教授、H30Aセメスターを藏本准教授に担当いただくことになるとの報告があった。

### 4. 各委員会報告

#### 1) 財務委員会

高見澤委員長代理より、

① 5月は予算および決算、預託金制度への対応案について、6月は業務達成基準の執行計画案について審議する予定であるとの報告があった。

② 平成28年度の決算案および平成29年度の予算案、留学生経費の配分について委員会案を提出したので後程ご審議いただきたいとの予告があった。

#### 2) インフラ委員会

安富委員長から、所内の研究室の配置について説明があった。今後を見据えると研究室の数に余裕がなくなっていくことが見込まれることから、個人研究室ではない部屋(旧運営単位室)の使用状況等を把握したいので、調査に協力願いたいとの要請があった。

#### 3) 情報・広報委員会

菅委員長より、

① 公開講座について、夏の公開講座を過去2年実施したが今年度は実施しない予定であること、来年度以降の開催については今後検討していくこと、秋はホームカミングデーの日(10月21日)に行うこととし、担当教員は今まで担当していない2名にお願いする予定であるとの報告があった。

② 高校生のためのオープンキャンパスへの参加について、今年度はASNETの後藤特任准教授の企画を所内で実施する予定であるとの報告があった。

③ 本日、業績データベース講習会を開催するとの案内があり、新任以外の方も対象なので積極的に参加いただきたいとの依頼があった。

④ データベースの更新方法の変更を検討しており、必要事項を一覧にして事務補佐員に送って入力してもらうシステムを考えているとの報告があった。

#### 4) 研究企画委員会

名和委員長より、

① 共同利用・共同研究拠点への申請について、土田事務長を通じて総務委員会へ「総務委員会で所の方針を決めていただき、研究企画委員会で詰めていくこととした」との意見をあげたとの報告があった。

② 資料P 6 2～6 5に基づき、当研究所が開催する主な研究会について、5 5 歳年度に実施していた自己点検・評価セミナーがなくなったことなどを反映させる他、現状に合わせた分類や文言の整理等を進めているとの報告があった。

③ 東洋文化研究所紀要の査読の取り扱いについて明文化されたものがないため、委員会で整理して検討したいとの説明があった。

5) 図書委員会

特になし

6) 東洋学研究情報センター委員会

平勢副センター長より、

① 共同利用・共同研究拠点に関する報告書を提出したとの報告があった。

② センター運営委員会について、調整を進めているとの報告があった。

7) G J S 委員会

園田委員長より、

① 7月29日（土）から8月8日（火）にかけて実施するサマープログラムについて、13人から応募があり、12人を採用したとの報告があった。

② GJS セミナーを束ねて1つのタームの企画とすることで単位化することを検討しているとの報告があった。

③ 東京大学は指定国立大学法人構想の中で卓越した国際研究拠点・国際プロジェクトの例として「総合日本研究」を挙げている。国際日本学の分野については国内でも動きがあることから、大学共同利用機関法人人間文化研究機構国際日本文化研究センターとも情報交換を行っていききたいとの説明があった。

8) その他

特になし

5. その他

土田事務長より、

① 資料P 6 6～6 8に基づき、研究員受け入れに伴うビザ申請について、手続きの流れ、必要書類、学内のビザ・コンサルティング・サービス（以下、ビザコン）について説明があり、併せて受入れの日程に間に合うように手続きを進めていただきたいこと、教授会終了後に改めてメールで周知を行う予定であり、本件についての問い合わせは研究支援担当までお願いしたいとの依頼があった。

続いて意見交換が行われ、ビザ申請のために入国管理局やビザコンに行くのは受入教員の担当業務であると認識する必要がある、過去に事務が代行した例もあるが、本来の手続きや責任の所在が不明確になるため、教員は事務に代行を頼んだり、事務も

それを請け負ったりしないようにしていただきたいとの意見があった。

② 例年同様、本部入試課より平成30年度入試に係る記者発表にて大会議室の借用依頼が来ている旨報告があり、本件は全学的な重要行事であるため、従前通り、現時点で会議室の貸与を承諾することとしたいこと、具体の貸与日についてはメールにて通知すること等報告があった。

#### 審議事項

6. 教員の海外渡航について

なし

7. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員から説明があり、資料P69のとおり3件の受け入れが承認された。

8. 学内委員の委嘱について

榊屋所長より、資料P70に基づき説明があり、承認された。

9. 所内委員会について

榊屋所長より、資料P71に基づき説明があり、一部追加のうえ、承認された。

10. 研究協力者の申請について

名和研究企画委員長から、資料P72に基づき説明があり、承認された。

11. シカゴ大学との全学国際交流協定の新規締結について

鍾准教授より、資料P73～76に基づき、7月の締結を希望していることからすでに国際委員会に提出しており事後となるが、この場でも承認願いたいとの説明があり、承認された。

12. 平成28年度決算について

高見澤財務委員長代理から、資料P81～90に基づき、平成28年度の予算執行状況、収支状況、預託金・剰余金・施設修繕準備金の現在高、間接経費の受払状況等について説明があり、次回教授会にて再度審議をしたうえ、確定することとした。

13. 平成29年度予算配分案について

高見澤財務委員長代理から、資料P91～93に基づき、昨年度末の教授会で承認された個人研究費の追加配分を加え、前年度決算に基づく調整等を加えた配分案について説明があり、次回教授会にて再度審議をしたうえ、確定することとした。

14. 独立行政法人国際協力機構（JICA）からの人件費補填の取扱いに関する申し合わせの改正について

高見澤財務委員長代理から、資料P94～95に基づき独立行政法人国際協力機構（JICA）からの人件費補填の取扱いに関する申し合わせの改正について提案があった。預託金制度の変更に伴う文言及び所長裁量経費を使用して経理を行わないこととする変更であるとの説明があり、審議の結果、承認された。

15. 共同利用・共同研究拠点について

榊屋所長より、共同利用・共同研究拠点へ申請について、現在、センターに配分されている共通政策課題分（全国共同利用・共同実施分）は「申請を模索する」として助成

を受けているため申請しない場合にも理由が必要であること等をふまえて総務委員会でも検討した結果、申請を行うこととしたとの提案があり、承認された。

この承認を受け、柵屋所長より申請書の作成に協力いただきたいとの要請があった。

#### 16. その他

柵屋所長から、所内会議等の日程表を再配付するので、再度確認していただきたいとの要請があった。

以上